

ふるさと白川の歴史

主な出来事

昭和31年（1956年）

9月 白川町、蘇原村、黒川村、佐見村が合併して新町誕生
11月 新藤郁太郎氏（坂ノ東）、初代町長に当選
昭和32年（1957年）

3月 「広報しらかわ」創刊
4月 消防団を統合、白川町消防団発足
第1回町議会議員選挙（定数26名）
婦人会、青年団の町連合組織発足

7月 白川町体育協会発足
12月 役場庁舎建設工事中
鉄筋二階建て本庁舎のほか木造平屋建て宿直棟など付
属施設のあわせて総床面積970㎡が完成
昭和33年（1958年）

1月 役場新庁舎での業務を開始
4月 合併記念として町有林18ヘクタールを坂ノ東地内に
取得
7月 松ヶ瀬橋（河岐・初のPSCコンクリート橋）完成
12月 下金町営住宅10戸を建設
昭和34年（1959年）

2月 蘇原有線放送事業始まる
6月 坂東橋（白山）、飛泉橋（河岐）完成
9月 伊勢湾台風襲来、死者1名のほか、被害が大きく災害
救助法の適用を受ける
11月 新藤町長及び町議会全議員辞任
12月 町長（黒川）当選
昭和35年（1960年）

3月 田口通一町長死去、町葬を行う
5月 白川保育園（和泉）開園
10月 第3代町長に清水忠男氏（下佐見）当選
昭和36年（1961年）

5月 白川町商工会設立
9月 第2室戸台風襲来、各地に被害

12月 白川、大山、坂ノ東中学校を廃止して白川中学校の設
置を決める
昭和37年（1962年）

4月 日本結核予防会総裁秩父宮妃殿下から表彰を受ける
4月 上佐見、下佐見へき地保育所開設
11月 白川口公会堂を購入し、町民センターとして開設
昭和38年（1963年）

4月 蘇原中学校を廃止して、白川中学校へ統合
5月 町章を制定
昭和39年（1964年）

12月 黒川へき地保育所開設
昭和39年（1964年）

3月 町議会議員選挙執行（議員定数18名に削減）
飛騨木曾川国定公園の指定を受ける
白川小学校給食センター（河岐）完成
白川霊苑（坂ノ東）完成
白川中学校新築工事成
関西茶品評会本町で開催
昭和40年（1965年）

9月 佐見保育園完成、へき地保育所を廃止
1月 国道41号七曲橋、鷺原橋完成
3月 坂ノ東へき地保育所開設
9月 町内の公社電話、即時通話始まる
10月 白川中学校体育館が完成
合併10年記念行事を行う
昭和41年（1966年）

3月 白川、坂ノ東、蘇原、切井、黒川の各農協が合併し、
白川町農業協同組合を設立
白川坂ノ東有線放送電話事業始まる
公衆衛生事業の功績により、厚生大臣表彰を受ける
白川簡易水道工事成、白川口と和泉で給水始まる
岩永医師により佐見診療所開設
昭和42年（1967年）

2月 黒川保育園完成、へき地保育所を廃止
3月 町道小原線（河岐）開設工事成
町内の国道41号改良工事成
白川口駅前の町営駐車場完成
白川、蘇原、黒川、佐見の各森林組合が合併し、白川
町森林組合を設立
坂ノ東保育園完成、へき地保育所を廃止
役場佐見支所新庁舎完成
清水忠男町長辞任
第4代町長に加藤公美氏（黒川）当選

昭和43年（1968年）

3月 白川警察官派出所（河岐）完成
4月 黒川小学校給食センター完成、黒川地内の給食開始
5月 白川町誌発刊
8月 8・17集中豪雨により町内各地に災害が発生し、死
者2名を出し災害救助法の適用を受ける
国道41号河岐下山地内で観光バス2台が増水した飛
騨川に転落し104名が命を落とす
佐藤栄作内閣総理大臣来町、8・17災害状況を視察
山村振興地域の指定を受ける
昭和44年（1969年）

12月 農業構造改善事業により、鱒製茶工場、大寺稚蚕共
同飼育所完成
3月 白川、蘇原、黒川の有線放送電話事業一本化に伴い農
協から町営へ
4月 役場蘇原支所新庁舎完成
5月 「8・17災害犠牲者慰霊碑」と「天心白菊の塔」を
河岐下山地内に建立し除幕式を行う
町消防団8・17災害の復旧とバス事故遺体捜索の功
労により、内閣総理大臣表彰を受ける
加茂錦鯉センター（坂ノ東）完成
藤井丙午氏（黒川）を名誉町民に選定、顕彰式を行う
昭和45年（1970年）

11月 農業構造改善事業により、広野製茶工場、緑茶冷蔵所
と宇津尾茶園12ヘクタールが完成
3月 佐見地区有線放送電話事業が町営となり、町内一本化
が完了し町営となる
4月 切井へき地保育所開設
5月 天神線（河岐）架替工事成
8月 白川小学校（和泉）新築工事成
9月 白川中学校運動場に夜間照明施設が完成し一般に開放
役場黒川支所新庁舎、黒川総合センター完成
昭和46年（1971年）

3月 山村振興事業により、三川製茶工場、佐見錦鯉稚魚供
給施設完成
4月 黒川東小、中小、西小を統合し、黒川小学校の設置を
決める
県議会議員選挙で、長谷部正雄氏（河岐）当選
保健文化賞を受ける
新町15周年記念として岩倉町有林（坂ノ東）40ヘ
クタールを取得
佐見農協が白川町農業協同組合と合併し、農協合併事
業完了
第5代町長に今井廣嗣氏（和泉）当選
新田洞林道の柳島橋（和泉）が完成し大正河原キャン
プ場の整備進む

昭和47年	4月	(1972年)	オリンピック・ミューヘン大会のカヌー競技第一次予選を白川で開催
	4月		町の予算総額10億円の大台に
	10月		町体育協会、文部大臣表彰を受ける
	12月		町の木「ひのき」、町の花「岩つつじ」を選定
	昭和48年	(1973年)	
昭和49年	5月		第7回中日日本総合ソフトボール大会開催、オール白川チーム、一般男子の部で3位入賞
	11月		長寿の森第1号佐見に誕生
	2月	(1974年)	県道白川加子母線と泉バイパス完成
	11月		林業構造改善事業により土木・林業用機械を購入し、町営による作業道開設事業を始める
	7月		参議院議員選挙で名誉町民藤井丙午氏当選
昭和50年	9月		台風18号襲来、被害総額約3億円
	1月	(1975年)	白川町農協会館(河岐)が完成
	4月		町の予算総額20億円の大台に
	6月		県議会議員選挙で新藤秀逸氏(坂ノ東)当選
	12月		独居老人のための家庭奉仕員を設置
昭和51年	2月	(1976年)	オール白川女子ソフトボールチームが東海4県総合大会で優勝
	2月		公社電話の全町自動ダイヤル化完成
	3月		和泉、大山、坂ノ東教員住宅完成
	4月		上佐見小、下佐見小を統合し、佐見小学校が開校
	4月		県立白川高等学校が完成、開校式が行われる
昭和52年	8月		台風17号による集中豪雨で被害総額1億円余
	9月		白川町民憲章および白川町民の歌を制定
	11月		合併20周年記念行事を行う
	11月	(1977年)	
	昭和53年	(1978年)	
昭和54年	1月		黒川小学校、図書館教育で文部大臣賞受賞
	3月		町の予算総額30億円の大台に
	4月		ソフトボールを町技に指定
	3月		田代グリーンセンターがオープン
	11月	(1979年)	白川町社会福祉協議会が社会福祉法人として法人化
昭和55年	3月		県立白川高校第1回生134名卒業
	4月		県議会議員選挙で新藤秀逸氏再選
	5月		白川町文化協会設立
	7月		赤河簡易水道完成、給水開始
	昭和56年	(1981年)	
昭和57年	11月		初の全町一区による町議会議員選挙を行う
	4月	(1980年)	
	4月		切井小、赤河小、三川小を統合し、蘇原小学校(赤河)開校
	4月		蘇原保育園(切井)開園、切井へき地保育所を廃止
	8月		切井中学校を白川中学校へ統合
昭和58年	8月		切井製茶工場完成
	12月		県茶業振興大会を本町で開催
	1月	(1981年)	明治維新史料館(三川)オープン
	4月		参議院議員補欠選挙で藤井孝男氏(黒川)当選
	9月		飛騨川簡易水道完成
昭和59年	10月		可茂消防事務組合に加入
	6月		町農業友好訪中団、旧満州の「陶頼昭」を訪問
	8月		今井廣嗣町長辞任
	9月		第6代町長に鈴木富郎氏(赤河)当選
	10月		河岐地内に可茂消防事務組合の東消防署庁舎が完成し、業務を開始
昭和60年	3月	(1982年)	
	6月		町の予算総額40億円の大台に
	11月		県下最長寿者安江勇次郎さん(白山104歳)死去
	11月	(1983年)	水戸野農道新水戸野橋完成
	2月		白川小学校体育館・切井体育館完成
昭和61年	2月		油井運動場完成
	3月		県議会議員選挙で新藤秀逸氏3選
	4月		9・28豪雨、被害総額3億円余
	9月	(1984年)	
	1月		元三川小学校跡地に光の子保育園が完成し開園
昭和62年	4月		大山小、坂ノ東小を統合し、白川北小学校(坂ノ東)が開校
	1月		イタリア・ピストイア市から市長ら3名が来町、友好交流事業が始まる
	6月		鈴木町長イタリア・ピストイア市を公式訪問
	7月		白川射撃場(三川)完成
	4月	(1985年)	
昭和63年	4月		町の予算総額50億円の大台に
	8月		白川北製茶工場(坂ノ東)完成
	9月		第1回白川・イタリアオルガン音楽アカデミー開催
	11月		国鉄下油井駅が「農協駅」として再出発
	11月		白川町ピストイア市友好協会設立
昭和64年	11月		東濃ヒノキ白川市場(三川)オープン
	4月	(1986年)	
	4月		美濃茶臼川流通センター(坂ノ東)完成
	5月		ざい水と緑の環境百選に「白川街道と白川」が選定される
	7月		白山に株式会社社三明電機白川製作所を誘致、操業開始
昭和65年	8月		参議院議員選挙で藤井孝男氏再選
	8月		蘇原地区県営ほ場整備工事始まる
	10月		県茶業振興大会を本町で開催
	12月		葛牧橋(河東)完成
	12月		三川簡易水道完成、給水開始
昭和66年	3月	(1987年)	
	4月		合併30周年記念行事を行う
	4月		藤井橋完成、恵那白川線三川バイパスが全線開通
	8月		第1回青少年海外派遣事業で中学生と高校生4名をピストイア市へ派遣
	8月		黒川中学校新校舎完成
昭和67年	8月		県議会議員選挙で新藤秀逸氏4選
	11月		スポーツ少年団「赤とんぼ」(赤河)がソフトボールで全国大会に初出場
	11月		全国の白川さんを募集し「美濃白川ファミリーの会」発足
	12月		中央公民館、保健センター、福祉センターの複合施設「町民会館」が完成
	2月	(1988年)	町議会議員選挙執行(議員定数16名に削減)
昭和68年	2月		白川町商工会館完成
	5月		下油井町営住宅3戸完成
	7月		佐見中学校が日本善行会から青少年善行表彰を受ける
	8月		皇太子妃殿下と紀宮内親王殿下ご来町
	10月		東濃ひのき製品流通協同組合設立
昭和69年	10月		主要地方道下呂白川線白川口トンネル完成
	1月	(1989年)	
	1月		昭和天皇崩御、時代は平成へ
	3月		黒川営農飲雑用水完成
	3月		河岐橋が完成し、主要地方道下呂白川線河岐バイパスが全線開通
平成元年	4月		有線放送事業を廃止し、町防炎行政無線施設を開局
	8月		小澤征爾と世界的チェロ奏者ロストロポーヴィチが来町、町内5か所でキャラバンコンサートを開催
	9月		第7代町長に田口久男氏(坂ノ東)当選
	11月		東濃ひのき製品流通協同組合の木材加工施設(三川)完成
	11月		

平成2年 (1990年)		2月	白川北保育園(坂ノ東)完成
		3月	スペイン・サラマンカ大聖堂オルガン修復記念フェスティバルに町長ほか12名が参加
		4月	スペインからトマス・ルイス・デ・ビクトリア合唱団が来町
		7月	白竹作業所(坂ノ東)開所
		8月	農村環境改善センター(黒川)完成
		11月	白川橋ライトアップ工事が完成
		3月	関西茶品評会審査会が本町で開催され、鱒淵茶生産組合が農林水産大臣賞を受賞
		4月	河東鷲原地内で温泉掘削に成功
平成3年 (1991年)		3月	町第三次総合計画を議決
		4月	県議会議員選挙で新藤秀逸氏5選
		5月	東座の修復が完成、名誉館主に中村勘九郎氏を迎え記念公演
		7月	美濃白川ゴルフ倶楽部オープン
		11月	紀宮殿下ご来町
		1月	町の魚「アジメドジョウ」町の鳥「ウグイス」を選定
平成4年 (1992年)		1月	新町35周年記念行事を行う
		2月	七曲町営住宅完成
		3月	蘇原地区公民館完成
		4月	白川保育園新園舎完成
		7月	白川町林業センター完成
		9月	河東に飯島製本株式会社白川工場を誘致、操業開始
		4月	中国扶余市長ら4名来町
		7月	参議院議員選挙で藤井孝男氏3選
		9月	紀宮殿下ご来町
		10月	情報教育推進のため各小中学校にコンピュータ導入
平成5年 (1993年)		3月	農畜産物処理型加工施設(河東)完成、営業開始
		4月	町の当初予算額が、80億円を突破
		5月	宇津尾製茶工場完成
		8月	広域合併により白川町農協が美濃加茂農協となる
		9月	県道上佐見坂ノ東線が国道256号に昇格
		10月	アウトドアリゾート施設「クオーレふれあいの里」(和泉)オープン
		11月	イタリア大使夫妻来町
		12月	衆議院議員総選挙で藤井孝男氏が当選
		1月	美濃白川ふるさと館ピアチエーレ(河東)オープン
		2月	主要地方道恵那白川線赤河バイパス完成
平成6年 (1994年)		3月	ピアチエーレに「道の駅美濃白川」を開駅
		4月	美濃白川スポーツランド(河岐)温泉保養館オープン
		5月	県議会議員新藤秀逸氏が103代県議会議長に就任
		10月	イタリア・ピストイア市と姉妹都市提携調印
		12月	美濃白川スポーツスパランドにケイマンゴルフ場オープン
		1月	特定農用地総合整備事業「美濃東部地区」計画樹立が決定
		3月	蘇原小学校プール完成(全小学校に整備完了)
平成7年 (1995年)		4月	白川学校給食センター(三川)完成
		5月	県議会議員選挙で新藤秀逸氏6選
		6月	美濃白川ふるさと体験村(下佐見)オープン
		7月	白川ピストイア友好協会が町国際友好協会に改称
		8月	やすらぎの里公園(切井)オープン(隠居山観音)
		9月	東濃ヒノキ白川市場開設10周年記念市開催
		10月	福祉センター「さわやか白楽園」(三川)オープン
平成8年 (1996年)		3月	佐見ふれあいセンター完成
		4月	特別養護老人ホーム「サンシャイン美濃白川」(坂ノ東)オープン
		5月	切井簡易水道完成
		7月	白川北茶工場拡充整備
		8月	白川斎場完成(改築)
		9月	白川町出身者による「美濃白川ふるさと会」結成
		10月	合併40周年記念行事を行う
		11月	笠松町と「災害時における相互応援協約」を締結
		12月	特定公共賃貸住宅下赤河団地完成
平成9年 (1997年)		3月	高齢者能力活用協会(現シルバー人材センター)発足
		4月	濃飛建設職業能力開発校(白山)開校
		5月	中野緑茶加工施設完成
		8月	町民会館開館10周年記念行事を行う
		9月	広域基幹林道白北線開通
		10月	河岐トンネル貫通
		11月	藤井孝男氏が運輸大臣に就任
		12月	第8代町長に今井良博氏(三川)当選
		1月	着工以来12年、蘇原地区ほ場整備完工
		2月	町営住宅和泉団地完成
		3月	佐見中学校新校舎完成
平成10年 (1998年)		4月	佐見中学校新校舎完成
平成11年 (1999年)		3月	「世界に開かれたまち」自治大臣表彰受賞
		4月	町道小原線改良工事が完了し「小原橋」完成、開通
		9月	台風7号及び集中豪雨により大きな被害が発生
		10月	福祉センターに在宅介護支援センター開設
		12月	在宅福祉事業への積極的な取り組みが評価され、厚生大臣表彰受賞
		1月	ソフトボール町技制定20周年記念行事を行う
平成12年 (2000年)		2月	黒川保育園新園舎完成
		3月	知的障害者施設「白竹の里」(赤河)完成
		4月	町単独地域振興券の発行開始
		6月	保育業務を民生部局から教育委員会事務局へ移管
		7月	河岐バイパス(河岐トンネル)が完成開通
		1月	新田バイパス、黒川バイパスが完成開通
		3月	かしも白川流域連合協議会が発足
		4月	美濃白川クオーレの里で「ミレニアム祭」開催
		5月	町内初の世帯用及び単身用併用の集合型町営住宅「コーポサリバー200C」が三川に完成
		6月	白川中学校に柔剣道場が完成
平成13年 (2001年)		2月	サンシャイン美濃白川に県下初のケアユニット方式の入所棟が完成
		3月	町の当初予算が100億円を突破
		4月	第4次総合計画「美濃白川ときめきプラン21」を策定
		5月	白川中学校新体育館が完成
		9月	第1回自転車ヒルクライムタイムトライアル開催
		10月	合併45周年記念行事を行う
		11月	海山交流事業で調査団12人が沖繩県宮古島を視察
平成14年 (2002年)		3月	町営住宅大寺団地(上佐見)完成
		4月	黒川デイサービスセンター「気楽園」が開所
		5月	イタリアピストイア市から市長ら4名が来町、両市町の友好の歴史をまとめた本「友好の証」が寄贈される
		6月	佐見保育園新園舎完成
平成15年 (2003年)		3月	多目的集会施設「佐見むつみ会館」完成
		4月	美濃加茂市加茂郡町村合併協議会が設置され、1市7町村の合併協議が本格化
		5月	ゴミのポイ捨てや森林管理などを盛り込んだ「美しいまちづくり条例」を制定
		6月	町営住宅赤河団地「ルーラルコーポ赤河」完成

4月	図書室、資料展示室などを備えた美濃白川茶集館がオープン	平成19年 3月	都市と農村交流促進施設として白川沿いに9棟の農園付きコテージ完成	平成26年 11月	第9代町長に横家敏昭氏（切井）が就任 東座の二代目名誉館主に六代目中村勘九郎さんが就任 （2014年）
6月	戸籍電算システムが稼働を開始し、戸籍が電算化の幕開け	平成20年 6月	飛水峡が日本の地質百選に認定 （2008年）	3月	旧白川高校跡地に清流国体記念運動公園「大野台パーク」完成
8月	小学生の代表20人が沖縄県宮古島を訪問、海山交流の幕開け	平成20年 7月	日本風景街道に「美濃白川四季彩街道」が登録される	4月	役場の機構改革を行い係制に変更
9月	昭和32年3月の創刊から47年、広報しらかわ500号を発行 （2004年）	8月	消防団第1分団が37年ぶりに県大会に出場し、5位入賞 （2009年）	5月	日本創生会議が「消滅可能性都市」を発表し県下ワー
平成16年 2月	介護予防拠点施設「まめな館とみだ」完成	平成21年 3月	白川高等学校（加茂高校白川校舎）が閉校	8月	白川町ビストリア市交流30周年記念式典を開催 （2015年）
3月	森の発電所（木質バイオマスエネルギー利用施設）の運用を開始	4月	「緑のふるさと協力隊」を受け入れ	4月	年少児から年長児までの保育料を無償化 各種行政情報を町民に直接届けるメール配信サービスの運用を開始
4月	佐見デイサービスセンター「せせらぎ園」が開所	8月	野菜村チャオが年間売上1億円を達成	8月	白川町子育て支援センター「ちびっこひろば」開設
8月	携10周年を迎え、記念式典と交流20周年と姉妹都市提携20回白川イタリアオルガン音楽アカデミーを開催	平成22年 11月	大豆加工施設「佐見とうふ豆の力」がオープン 白川・東白川間農用道トンネルが貫通 （2010年）	平成28年 1月	赤とんぼスポーツ少年団が、第59回中日本総合ソフトボール選手権大会で優勝 （2016年）
12月	町民会館に大型パイプオルガンを設置、町民会館ホールを「白川グロリアホール」と命名	2月	白川町出身の作家中山七里さんが、第8回「このミス」が受賞	3月	消防団協力事業所表示制度を開始、協力事業者は事業税が控除される優遇措置が受けられるようになる
平成17年 1月	美濃加茂市と加茂郡の合併協議が破綻 （2005年）	7月	認知症対応型グループホーム「かわばた荘」が完成 町全域でケーブルテレビ施設整備が完了し、めざまししらかわ（行政情報番組）が放送開始 （2011年）	6月	イタリアピストリア市青少年派遣で佐見中学校の安江遠太郎さん、安江龍弥さんが歌舞伎を見学上演
3月	岐阜県教育委員会が白川高校と加茂高校の統合を発表 ピアチエーレ駐車場に飛騨美濃特産名人の館「茶ちやちや」と美濃白川お母さんの味「てまひまの店」が完成	平成23年 3月	東日本大震災が発生、震災の影響で東京電力福島原子力発電所の事故が同時発生	10月	第1回白川東白川地域公共交通活性化協議会を開催 の検討が始まる
8月	新規就農者研修施設「鰯淵団地」竣工	4月	町民会館3階に「住民生活に光をそそぐ相談室」を設置	11月	合併60周年記念式典を開催
4月	役場の組織と機構を改革、グループ制を導入	5月	東日本大震災復旧を支援するため「白川町災害ボランティア隊」が岩手県陸前高田市で災害復旧支援活動を実施、翌年10月までに5回の派遣を実施	平成29年 12月	美濃白川茶集館の資料展示室が「まちかど美術館博物館」に登録され、知事から感謝状が贈呈
7月	オイスカ国際会議in美濃白川が開催され、世界17の国と地域から約100名の国の代表やオイスカ会員が来町	9月	台風15号襲来、町内に甚大な被害をもたらす	平成29年 3月	白川北地区公共交通地域部会が、宇津尾で地域コミュニティバス「ニコニコふれあいバス」実証運行の出発式を行う （2017年）
8月	白川町誌現代編が完成	平成24年 9月	ぎふ清流国体に向けた白川射撃場改修工事が完了 美濃加茂市と定住自立圏協定を締結 （2012年）	4月	一般社団法人スポーツリンク白川が発足 となつて法人化
平成18年 10月	白川町議会が解散、町長選挙と町議会議員選挙（議員定数9名に削減）を同時執行	1月	美濃白川道の駅温泉オープン	7月	メーテレ開局55周年記念番組として白川町を舞台にしたドラマ「岐阜にイジュー」全10話が放送開始、町民も多数出演
3月	町内全域に簡易水道の敷設が完了	平成25年 1月	「ぎふ清流国体」が開幕、町内でライフル射撃とクレー射撃が行われ、翌月「ぎふ清流大会」を開催	7月	佐見とうふ豆の力に農家カフェ「ソシア」がオープン、町内産大豆を使った豆腐料理などを提供
4月	白川北ふれあいセンターが完成	1月	道の駅「清流白川クオーレの里」開駅	7月	佐見地区公共交通地域部会が、地域コミュニティバス「佐見いこり」実証運行の出発式を行う
7月	第4次総合計画後期基本計画及び第4次行財政改革大綱を策定	平成25年 2月	第6回全国水源の里シンポジウムが本町で開催される 読書のまち美濃白川の実践成果により博報賞を受賞 （2013年）		町内産東濃ひのきの新たな活用方法や可能性を探るため産官学連携により木製品開発報告会を開催
8月	黒川東座名誉館主「18代中村勘三郎襲名記念特別公演」が行われる	3月	第17回全国茶サミットが本町を会場に開催される		東濃ひのきの海外販路開拓のため、中国広東省広州市と佛山市を訪問
10月	関西茶品評会において宇津尾茶生産組合が農林水産大臣賞を受賞	5月	白川橋が国の有形文化財に登録される		マツオカと災害時における応急生活物資（食料品や日用品）の供給等に関する協定を締結
10月	合併50周年記念行事を開催	8月	第4回かも1グランプリをクオーレの里で開催 白川中学校女子ソフトボール部が全国大会に出場		

8月	10月	11月	12月	平成30年2月	3月	4月	5月	7月	8月	10月	
同時執行の町長・町議会議員選挙が告示され、町長選挙は無投票で横家町長が再選	東京オリンピック・パラリンピック競技大会「選手村ビレッジプラザ」への木材提供者に選定される	中村勘九郎中村七之助全国芝居小屋錦秋特別公演が黒川東座で開催される	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から木材提供に対し感謝状が贈呈される	町有林のスギやヒノキを森林認証材として初出荷 (2018年)	西日本電信電話株式会社岐阜支店と災害時の被災者の通信手段確保を目的に、特設公衆電話の設置等に関する覚書を締結 実証運行中の白川北地区コミュニティバス「ニコニコふれあいバス」利用者千人達成記念式が開催される	東京オリンピック・パラリンピック選手村ビレッジプラザ木材伐採式が全国の木材提供自治体に先駆けて町内で行われ、大会組織委員会から副事務総長が来町 交流スペース、厨房、宿泊施設を備える農業研修交流施設「黒川Maruke(マルケ)」が竣工オープン 赤川簡易水道切井浄水場が竣工、セラミック膜によるろ過装置に改修	佐見食品加工施設が竣工し、伝統料理の鯉の赤煮や川魚の加工を行い、食文化を次世代に伝承 健康増進と健診受診率向上を図るため、ポイントを付与し商品券を進呈する「豆まめ健康茶(チャ)レンジ事業」が始まる	美濃白川お茶街道が開通、県営ふるさと農道整備事業として進められていた町道中川下油井線の宇津尾から油井までの改良工事が完成し、事業変更を経て、美濃東部農道として事業が開始された全線で整備が終了 複合型拠点施設よいいち(41)美濃白川がオープン 白川町、東白川村、名古屋大学大学院環境学研究科の3者で「持続可能なまちづくりのための連携協定」を締結	町産材東濃ひのきを活用した木製品を開発した家具メーカーの飛騨産業、東濃ひのきと白川の家建築協同組合と町の3者で事業提携協定を締結 西日本豪雨により町内にも多くの被害が発生 8・17災害から50年を迎え、当時の被害を次世代に語り継ぐとともにこれからの防災について考える「8・17災害防災シンポジウム」を開催 新しい公共交通「おでかけしらかわ」の出発式を行い、濃飛バス新路線、予約制バス、通勤通学支援JR接続便が運行開始 メーテレ制作の移住促進ドラマ「イジューは岐阜と」が、白川町はじめ県内4市町で撮影され放送開始 町立図書館美濃白川楽集館の開館15周年を記念し、作家林真理子さんを講師に迎え講演会を開催	7月	
平成31年(2019年)	令和元年	令和2年	10月	9月	8月	7月	5月	4月	3月	2月	
スマートフォンの決済による町税納付が可能に 名古屋城天守閣木造復元事業に町産材を出荷 福祉医療費無料化を中学生以下から高校生世代の18歳以下にまで拡大 移住交流サポートセンターが一般社団法人としてスタート、法人化にあわせ、三川の古民家を改修し役場から移転	平成から令和に改元 水戸野地内の茶畑で同時に茶摘みした最多人数のギネス世界記録に挑戦し、576人が同時に茶摘みをして世界記録を達成 東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザで使用される木材の出荷式が岐阜市で行われる 高知県で開催された「清流めぐり利き鮎大会」で佐見川の鮎が初参加で準グランプリを獲得 オイスカ子どもの森親善大使としてインドネシアとタイから子どもたちが来町し、白川北小学校児童と交流 (2020年)	白川町で撮影された映画「his」が公開 東京オリンピック・パラリンピックの選手村ビレッジプラザの棟上げが完了、式典と内覧会に参加 白川小学校と白川北小学校の統合に伴う白川小学校閉校が行われ、白川北小学校の和泉の学び舎は147年でその歴史に幕を閉じる 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休校措置が講じられる(延長の未5月末まで) 白川北小学校閉校式が行われ、36年の歴史に幕を閉じる	世界保健機構(WHO)が新型コロナウイルス感染症(COVID19)のパンデミックを表明 県立森林文化アカデミーと森林資源の活用、ICTを用いた調査や担い手育成に開する連携協定を締結 地域包括支援センターを直営とし町民会館へ移転 白川小学校が開校、旧白川北小学校の校舎で新生白川小学校がスタート、休校措置の中での挙行となる 全都道府県に緊急事態宣言を发出、岐阜県は特別警戒都道府県に指定される JUVACDロリンエクスパートアカデミー岐阜校とドローンを活用した地域活性化に関する連携協定を締結 集中豪雨に見舞われ5日18時から8日9時までの合流地点で床上133件、床下199件の浸水被害が発生、24日には国土交通大臣が豪雨災害の被害状況視察のため来町	10月							
令和3年	令和4年	令和5年	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	10月	
白川小学校の新しい校章と校歌が完成、お披露目式が行われる 日本郵便と包括連携に関する協定を締結 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会2021年遅れで開幕(パラリンピックは8月24日から) 福祉有償運送事業がスタート 2年連続の大雨による飛騨川白川合流地点の浸水被害が発生 第10代町長に細江茂樹氏(下佐見)就任 (2021年)	佐見中学校閉校、白川中学校に統合 特定地域づくり協同組合「白川ワークドット協同組合」を設立(2月)し、県内で初の事業認定を受け事業を開始 細江町長病氣のため辞意を表明 国道41号上麻生防災事業により天心白菊の塔をよいいち駐車場へ移転 第11代町長に佐伯正貴氏(黒川)就任 (2023年)	有機農業に地域ぐるみで取り組む町として「オーガニックビレッジ」を宣言 新型コロナウイルス感染症が第2類感染症からインフルエンザ同等の第5類に引き下げられ行動規制が緩和される 消防操法大会を廃止(R4年)し、最少人数で現場の動作を取り入れた実践的な操法技術を身に着ける訓練「シン操法」を考案するなど、団員の負担軽減と持続可能な地域消防のため令和の大改革を断行、シン操法による初の訓練を実施 白川町社会福祉協議会とサンシャイン福祉振興会が合併し、新生「社会福祉法人白川町社会福祉協議会」が発足 東濃ひのき製品流通協同組合が新たな事業「Renawood(レナウッド)白川」を開始 東濃信用金庫と地域創生にかかわる包括連携協定を締結 株式会社リトルクリエイティブセンターとタウンプロモーショナル事業推進に関する連携協定を締結	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	10月

令和6年 (2024年)		3月	岐阜大学と包括連携協定を締結
		4月	白川町老人クラブ連合会の総会が開かれ「白川町シニアクラブ」へと名称を変更
		9月	役場新庁舎の起工式が執り行われる
		10月	リコージャパン岐阜支社と美濃白川DX戦略に関する包括連携協定を締結
		12月	イタリアビストイア市との交流40周年と姉妹都市提携30周年を迎え、記念行事としてWEBコンサート及びイタリアン給食を実施
			大寺橋(大寺)完成
			白川東白川地域公共交通活性化協議会が国土交通大臣から「交通関係優良団体表彰」を受賞
			手もみ製茶技術が国の登録無形文化財に指定
令和7年 (2025年)		1月	主要地方道恵那白川線全線2車線化が完了し、記念式典を挙行
		3月	地域経済の活性化とキャッシュレス決済の普及のためデジタル地域通貨「ShiRacaしらか」を導入
			大垣共立銀行株式会社バイウイルと地域におけるカーボンニュートラル実現に向けた連携協定を締結
			蘇原保育園が閉園
		5月	岐阜県トラック協会加茂支部と災害時における物資輸送等の協力に関する協定が締結
		6月	町単独地域振興券の発行を終了
			特定非営利活動法人Vネットと「災害時における入浴等支援に関する協定」を締結
		8月	町議会議員選挙を執行(議員定数8名に削減)
		11月	白川イタリアオルガン音楽アカデミー第40回記念式典及び記念コンサートが行われる
		12月	施設一体型小中学校の新校舎起工式が執り行われる
令和8年 (2026年)			役場新庁舎の竣工式が執り行われる
		1月	役場新庁舎が開庁
		2月	白川茶未来協議会を設立、官民一体で茶業の課題や白川茶の存続に取り組む推進組織として活動開始
			同朋大学白川町社会福祉協議会と包括連携協定が締結
		3月	株式会社トイファクトリーと「マルモビパートナーシップ協定」を締結
			白川橋架橋100年を機にライトアップをフルカラーLEDにリニューアル、同じく100年を迎えた白川口駅とともに100周年記念イベントを実施
		4月	町道小倉線「小倉橋」完成
		6月	故藤井孝男氏を名誉町民に選出
		8月	無投票で佐伯町長が再選
		9月	合併70周年記念式典を開催